

文部科学大臣杯 第80回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会 大会要項

ver.20250724

主催 日本学生自転車競技連盟
 共催 公益財団法人日本自転車競技連盟
 運営協力 千葉県自転車競技連盟 群馬県自転車競技連盟
 後援 スポーツ庁 千葉市
 協賛 公益財団法人JKA 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会
 井上ゴム工業株式会社 株式会社パールイズミ 株式会社JPF
 協力 株式会社日直商会 ブリヂストンサイクル株式会社 株式会社PIST6
 一般財団法人日本サイクルスポーツ振興会 (複数標記部分順不同)
 期日

トラック：2025年 8月27日(水) 20時00分 チーム監督/代表者Zoom会議
 8月29日(金) 8時00分 トラック参加選手受付 出走者確認+ゼッケン配布
 (於：トラック競技場内 8:30 終了予定)
 10時00分 競技開始
 12時20分 開会式(アナウンス放送で・一部の役員選手の整列あり)
 競技終了後 表彰式/トラック競技種目別 於：トラック競技場内
 8月30日(土) 8時00分 2日目からのトラック参加選手受付 出走者確認+ゼッケン配布
 (於：トラック競技場内 8:30 終了予定)
 9時00分 競技開始
 競技終了後 表彰式/トラック競技種目別 於：トラック競技場内
 8月31日(日) 8時00分 3日目からのトラック参加選手受付 出走者確認+ゼッケン配布
 (於：トラック競技場内 8:30 終了予定)
 9時00分 競技開始
 競技終了後 表彰式/トラック競技種目別・トラック部門総合
 ロード：2025年 9月4日(木) 20時00分 チーム監督/代表者Zoom会議
 9月6日(土) 13時00分 女子ロード参加選手受付 出走者確認+ゼッケン・プレート配布
 (於：群馬CSC会場内 13:30 終了/女子補欠起用届提出期限)
 14時00分 女子競技開始(12周=72km)
 16時30分 女子ロード部門表彰式・女子総合成績表彰式
 (於：群馬CSC会場内 17:00 終了予定)
 14時30分~15時30分 男子ロード参加選手前日受付 出走者確認+ゼッケン・プレート配布
 9月7日(日) 7時30分 男子ロード参加選手受付 出走者確認+ゼッケン・プレート配布
 (於：群馬CSC会場内 8:00 終了/男子補欠起用届提出期限)
 9時00分 男子競技開始(25周=150.0km)
 14時00分 男子ロード部門表彰式・男子総合成績表彰式・閉会式
 (於：群馬CSC会場内 14:30 終了予定)

会場 トラック：千葉県千葉市 TIPSTAR DOME CHIBA (千葉JPFドーム・250m屋内トラック)
 ロード：群馬県利根郡みなかみ町 群馬サイクルスポーツセンター 1周 6.0km
 大会主旨 本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)の学校対抗形式による種目別の優勝者を決め、種目別の順位により与えられる対抗得点の合計をもって選手権校を決定する大会である。
 競技種目 1. 男子の部：スプリント、1kmTT、ケイリン、4kmIP、タンデムスプリント、4kmTP、チームスプリント、オムニウム、マディソン、個人ロードレース 150.0km (25周=150.0km)
 2. 女子の部：スプリント、1kmTT、4kmIP、チームスプリント、オムニウム、マディソン、個人ロードレース 72.0km (12周=72.0km)

参加資格

(男女共通)

- 会場入場者全員
 - 別途コミュニケーション等により発表する感染対策等の指針と現場における指示に従うこと。
- 出場選手
 - 日本学生自転車競技連盟憲章・副則・諸規則規程を熟読熟知のうえ順守し、その主旨に賛同して本連盟事業の安全・円滑な運営に協力・寄与する者であること。
 - 受講実績として有効な期間内の座学講習会、実地研修会をエントリー提出日までにそれぞれ2回以上受講済であること。なお、本年度の座学講習会、実地研修会の日程は本連盟HPで確認すること。また、その他アンチドーピング関係の講習受講などの要件については、以下の本連盟HPのアドレスからサイトを確認すること。<https://jicf.info/27120/>
 - なお、アンチドーピング研修の受講実績については、JCF登録時に求められることに加えて、日本学生自転車競技連盟としても受講実績を確認することとなったので注意のこと。
 - 本年度に有効な、公益財団法人日本自転車競技連盟(以下、「JCF」という)またはUCI加盟国内連盟の発行するライセンス所持者のうち、本連盟加盟校の登記選手であること。
- 大会参加基準(男子選手のみ)
 - 本年度本連盟大会参加基準(以下「参加基準」という)を満たしている者。補欠選手も大会参加基準を満たしていること。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>



4. チーム監督/代表者
 - ・本大会のチーム監督/代表者は日本スポーツ協会コーチ1以上、UCIコーチレベル1以上の所持者に限る。但し、当年度ライセンス取得者に関しては、受講合格の通知証をもってこれにかえることができる。
 - ・チーム監督/代表者は、本連盟HPのサイトで発表する所定の座学講習会をエントリー提出日までに2回以上受講済であること。加えて、本連盟が指定するアンチドーピング関係の講習会を本大会前1年間以内に1回以上受講していることが必要である。詳しくは、以下アドレスの本連盟HPのサイトを確認すること。<https://jicf.info/27120/>
 5. チームスタッフ
 - ・JCF又はUCI加盟国発行ライセンスを所持していること。
 - ・チームスタッフは、本連盟HPのサイトで発表する所定の座学講習会をエントリー提出日までに1回以上受講済であること。加えて、本連盟が指定するアンチドーピング関係の講習会を本大会前1年間以内に1回以上受講していることが必要である。詳しくは、以下アドレスの本連盟HPのサイトを確認すること。<https://jicf.info/27120/>
 - ・トラック会場ではエントリーシートにより届け出たチームスタッフのみがインフィールドに立ち入ることができる。
 - ・本大会はトラックとロードそれぞれのチーム役員登録証を提出する必要があるが、基本的にエントリーシートに記入したチームスタッフのみが、チーム役員に登録できる。詳細についてはコミュニケ等を参照すること。
 6. 緊急時搬送同行・送迎要員
 - ・大会中に選手を医療機関等に搬送する必要がある場合、チームの責任において搬送すること。救急車を要請した場合、同乗者はチームの責任において選任すること。
 - ・緊急時搬送同行・送迎要員は、必ずしも競技ライセンスを必要としない。また、チーム監督/代表者、コーチ等が兼任してもよいが、競技中であっても救護活動を優先すること。
 - ・エントリー用紙に緊急時搬送同行・送迎要員としての氏名の登録を必須とする。
 7. 供出役員
 - ・本大会においてはエントリー選手数(補欠を含めた男女合計)に応じて、以下の通り役員を供出することを参加条件とする。
 - ・供出役員はJCF又はUCI加盟国発行ライセンスを所持していること。(競技者ライセンスでも可)
 - ・但し、2名以上の場合、1名以上は審判ライセンス保持者とする。なお、その審判ライセンスが第2級公認審判員以上の資格の場合は、審判員1名で供出役員2名分として換算することができる。
 - ・トラックでは、エントリー選手数(補欠を含めた男女合計)8~11名で1名、12名以上で2名を供出すること。審判ライセンス保持者がいない場合は、上記の供出人数にもう1名追加すること。
 - ・ロードでは、**本州に拠点有するチームで男女別エントリー選手数(補欠を含めた合計)**に応じて以下のようにする。なお、審判ライセンス所持者がいない場合には、トラックとは異なり、プラス1名による緩和措置はしない。

【女子：9月6日(土)】

 - (1) 2名で1名(審判ライセンス保持者でなくてもよいが、上記の何らかのライセンスが必要)
 - (2) 3名以上で2名(うち1名は必ず審判ライセンス保持者であること、もう1名は上記の何らかのライセンスが必要)

【男子：9月7日(日)】

 - (1) 3~4名で1名(審判ライセンス保持者でなくてもよいが、上記の何らかのライセンスが必要)
 - (2) 5~6名で1名(必ず審判ライセンス保持者であること)
 - (3) 7名以上で2名(うち1名は必ず審判ライセンス保持者であること、もう1名は上記の何らかのライセンスが必要)
 - ・供出役員については昼食を支給する(但し、交通費・宿泊費及び日当の支給は行わない)。
 - ・本大会のエントリー用紙に供出予定役員の氏名・ライセンス番号等の必要事項を記入すること。
 8. 供出役員の変更
 - ・エントリー用紙に記入した供出役員名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降の供出役員の変更は認めない。但し、変更後の供出役員は上記の審判ライセンス所持等の要件を同様に満たすことが必要である。
 - ・当日エントリー選手数が減少した場合でも、立哨役員・供出役員の人数は減らすことはできない。また、供出役員が当日の急な発熱等、体調不良により参加不可能な場合には代わりの者を出すこと。代わりの者を出せない場合には、実際に参加可能な供出役員数に対応する選手数に出走者数が限定される。もしくは該当する大学・チームに対して、1名の不足につき10000円のペナルティを科す。
 - ・感染症などにより一部もしくはすべての出場者が欠場するなどの場合は、至急事務局まで連絡すること。
 9. 主催者が認めた若干名のJCF強化指定選手のオープン参加を許容する場合がある。(女子選手の男子レースへの参加を含む)(男子トラックレース)
 10. 1人2種目迄、但し4kmTP、チームスプリントはこの数に含まない。1校あたりの最大人数は補欠を含め13名迄とする。
 11. 各校種目別のエントリー可能人数は次の通り。
スプリント=2名迄、1kmTT=2名迄、4kmIP、ケイリン、オムニウム=1名、タンデムスプリント、マディソン=1組、4kmチームパーシュート=1チーム(6名/出走4名)、チームスプリント=1チーム(5名/出走3名)
 12. 補欠選手登録は、各校トラック各個人種目1名、タンデムスプリント・マディソン2名迄とする。
 13. 男子のマディソンの参加資格については以下の通りとする。
 - ・受講実績として有効な期間内のマディソン用の座学講習会を事前に少なくとも1回以上受講済であること。
 - ・UCI、JCF及び学連主催大会のマディソンレースにおいて走行経験があること。なお、男子に必要な走行経験は、本大会エントリー申込期限後に実施された大会でのものは含まれない。エントリー申込期限までに必ず走行経験を満たすこと。
 - ・補欠についても同様の参加資格とする。なお、エントリー数により予選を行う場合がある。
- (女子トラックレース)
14. 1人2種目迄、但しチームスプリント、マディソンはこの数に含まない。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>



15. 各校種目別のエントリー可能人数は次の通り。
スプリント、1kmTT、4kmP、オムニウムは各校2名迄、マディソンは2組迄、
チームスプリント1チーム（5名／出走3名）。
16. 補欠選手登録は、各校トラック各個人種目1名迄、マディソンは2名迄とする。
17. 女子のマディソンの参加資格については次の通りとし、補欠についても同様とする。
・受講実績として有効な期間内のマディソン用の座学講習会を事前に少なくとも1回以上受講済であること。

(ロードレース)

18. 男子は当該年度ロード・カテゴリ・クラス1若しくは2に属する者。1校8名迄、補欠選手登録2名迄。最大計150名。
尚、出走予定人数が150名を超えた場合、下記の順に150名までを選出する。
(1) 本年度のロード選手権ランキング
(2) 前年度のロード選手権ランキング
(3) 本年度ロード・クラス1の者
(4) 本年度ロード・クラス2の者で、本年度RCSランキング保持者、定員を超える場合はランキング順とするが、本年度RCSランキングが同点の場合、セフティライド座学講習会、実地研修会を受講した回数も選考の対象とする。
(5) 上記にて定員に達しない場合、ロード・クラス2の者の前年度RCSランキング順
なお、補欠については本年度ロード・クラス1または2とし、上記人数に含まない。
20. 女子は1校6名迄、補欠選手登録2名迄。

参加申込

1. エントリー申込

- ・ 所定の様式（エクセル）でエントリー専用電子メールアドレス宛にて本連盟事務局まで申し込むこと。
2023jicf.championship@gmail.com
- ・ トラックとロードそれぞれ専用の書式を使用するので、間違わないこと。
- ・ エクセル様式申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。エクセル様式の到着を以て参加申込の正式受領とするが、相当するエントリー概要内容をGoogleフォームにて期限内に送付する事。
トラック <https://forms.gle/93tbh8bWSGKZF8bb6>
ロード <https://forms.gle/kwg8hksEBdpt9En29>

- ・ 本連盟ウェブサイトにエントリー受信者リストを公表するので、各自確認のこと。
- ・ 大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙と一緒に上記アドレスへ送ること。尚、エントリー用紙のデータが重くなるので、ライセンス画像データはエントリー用紙内に挿入する事を禁ずる、別ファイルにして送ること。申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。

2. 男子参加申込可能者（ロード）

- ・ 男子参加申込者数が150名を超えた場合には、上記の参加資格19.の方法により選出を行い、本連盟HP上に150名の参加申込可能者のリスト（150名の他に補欠選手のリストを含む）を掲載する。参加申込可能者及び補欠選手は、本連盟HPで発表する期日までに、下記の口座へ参加料を振り込むことで、本エントリー手続きが完了する。
- ・ なお、150名の参加申込可能者のリストが掲載されるか、または申込者全員が参加申込可能者である旨の発表があるまで参加料を振り込んではいけません。振込期限はその発表の際に指定する。

3. 参加料

男女とも正選手・補欠選手にかかわらずトラック、ロードそれぞれ1名8,000円とする。

4. 申込期限および参加料納入期限

- ・ トラックの申込期限及び参加料納入期限は、男女とも7月28日（月）必着とする。
- ・ ロードの申込期限は、男女とも8月4日（月）必着とし、エントリー用紙のみ上記アドレスへ送ること。この時点でロードの参加料の振込は行わないこと。なお、男子のエントリーについては、上記の締切日以後のエントリー用紙提出はいかなる理由があろうとも、一切認めない。
- ・ ロードについては全員のエントリーが確認でき次第、参加申込可能者のリストを本連盟HP上に掲載する。
- ・ 男子の参加申込可能者及び女子は本連盟HPで発表する期日までに、下記の口座へ参加料を振り込むことで、ロードのエントリー手続きが完了する。尚、男子の参加申込可能者のリストがHPに掲載される前に振り込みを行い、150名以内の選考に漏れた場合には参加料は返却しない。

5. 参加料振込先

長野県労働金庫（ろうきん） 諏訪湖支店 普通 9687387 口座名義 日本学生自転車競技連盟
送金名義人について、トラックは振込元に大会コード0829と、XXダイガク等、必ず学校名を記入すること。ロードは振込元に大会コード0906と、XXダイガク等、必ず学校名を記入すること。銀行振込以外の支払方法は認めない。大会毎に送金口座が異なるので注意すること。

6. 返金

- ・ 一旦入金された参加料は如何なる理由があろうとも返金しない。但し、本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金する。返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。
- ・ また、当日の体調不良により参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。

7. 欠場

- ・ 本大会における欠場については理由を問わず（怪我等の正当事由がない場合でも）ペナルティを科さないこととする。ただし、受付開始時刻以前に事務局まで電子メール（jicf@remus.dti.ne.jp）および電話（学連携帯090-2207-2369）で欠場の連絡をすること。

8. 誓約

- ・ 申込み手続きを以て本要項記載の誓約書に同意したものとみなす。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>



会場入場

1. チームスタッフの登録

- ・選手数（男女合計）+ 1名を上限（選手1名ならば、2名まで）としてチームスタッフの登録を行うことができる。
- ・監督とコーチはチームスタッフの合計人数に含まれる。
- ・選手以外のチームスタッフ全員の氏名をエントリー用紙に記入すること。
- ・登録されたチームスタッフのみが、インフィールド内への立ち入りを許可される。
- ・トラックレベルに入れるスタッフ数はJCF規則・大会コミュニケによる。
- ・本大会はトラックとロードそれぞれのチーム役員登録証を提出する必要があるが、基本的にエントリー用紙に記入したチームスタッフのみが、チーム役員に登録できる。詳細についてはコミュニケ等を参照すること。

2. 登録スタッフの変更

- ・エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。

3. メディア関係者

- ・大会開催3日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛て提出ください。

選手受付

1. ライセンスコントロール

- ・ライセンスコントロールはトラック、ロードともに事前にデータ上で行い、大会受付の現場では行わない。

2. 大会受付

(トラック)

- ・トラックの参加選手は別途コミュニケ発表の受付時間内にトラック競技場内の大会受付にてゼッケン等を受け取ること。この時点で、招集の代わりとするので欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。

(ロード)

- ・ロードの参加選手は別途コミュニケ発表の受付時間内に指定場所の大会受付にてゼッケンとプレートを受け取ること。欠場する場合は該当する選手の氏名を受付に申し出ること。
- ・補欠選手起用届をこの受付時間内に受付に提出すること。これ以降は補欠選手起用届の提出は認めない。

3. 補欠選手の起用届とTP・TSP出走選手届

(トラック)

- ・補欠選手起用届を別途コミュニケ発表の受付時間内に受付に提出すること。これ以降は補欠選手起用届の提出は認めない。
- ・TPは6名まで、TSPは5名までの選手登録が可能であり、補欠選手の登録は必要ない。よって、ラウンド毎の補欠選手起用届を出す必要はないが、ラウンド毎の選手変更を可とするため、当該番組開始1時間前までにTP・TSP出走選手届をセクレタリに提出すること。

(ロード)

- ・補欠選手起用届を別途コミュニケ発表の受付時間内に受付に提出すること。これ以降は補欠選手起用届の提出は認めない。
- ・ロードは男女とも上記受付時間の終了を補欠選手起用届の提出の最終期限とし、その際、不出場となる正選手のゼッケン・プレートと引き換えに補欠選手のゼッケン・プレートを配布する。これ以降の補欠選手起用届の提出は正選手の病気・怪我などの理由を除き、基本的に認めない。

4. バイク・インスペクション

(トラック)

- ・トラックの参加者は、自転車・ヘルメットを持参して各ラウンド出走15分前までにバイク・インスペクションを受けること。

(ロード)

- ・ロードの参加者は、自転車・ヘルメットを持参して出走15分前までにバイク・インスペクションを受けて出走サインを済ませること。

(トラック・ロード共通)

- ・レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、バイクチェックを実施したのち失格を含むペナルティの対象となる場合がある。

5. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。

6. トラックにおいてチーム・パーシュートとチーム・スプリントを除き、予選（ケイリンは第1回戦）に参加した選手以外の選手が予選以降の競技に出走することは認められない。

対抗得点

1. 男子については、以下の各種目の最終順位に従い、つぎの対抗得点を与える。なお、男子のトラック団体種目とは4 kmTP、チームスプリントをさす。尚、男子オムニウムは団体種目の得点を適用し、マディソンは個人種目の得点とする。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11~15	16~20
トラック個人種目	9	7	6	5	4	3	2	1				
トラック団体種目	14	12	10	8	6	4	3	2				
ロード	14	12	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

ただし、男子ロードレースについては各校ごとに上位3名迄のみが得点の対象となる。空位得点の繰り上げは行わない。

2. 女子については、以下の各種目の最終順位に従い、つぎの対抗得点を与える。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
トラック個人種目	7	5	4	3	2	1				
トラック団体種目	10	8	6	4	3	2				
ロード	10	8	6	5	4	3	2	1	1	1

ただし、女子ロードレースについては各校ごとに上位2名迄のみが得点の対象となる。空位得点の繰り上げは行わない。女子のトラック団体種目とはチームスプリントをさす。女子オムニウム、マディソンの対抗得点は個人種目の得点を適用する。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>



3. 総合順位は、男女別ロード部門とトラック部門の対抗得点の合計の多寡をもって決定する。同得点の場合には、トラック競技・ロード競技の各種目上位8名までを対象として、上位者が多い学校を上位とする。トラック部門総合とロード部門総合それぞれの順位についても、同様とする。

賞典・式典

1. 開会式は時程表に従い、競技場内にて行う予定です。閉会式は、ロード競技終了後準備が整い次第行う予定ですが、開会式・閉会式については別途発表するコミュニケにて詳細をご確認ください。
2. 総合成績・種目別成績について、順位に従って下記の範囲を入賞者とし、つぎの賞品・賞状を授与する。
 - 1) 総合成績 (男子) 優勝：文部科学大臣杯・優勝旗・賞状、2・3位：賞杯・賞状、4～8位：賞状
(女子) 優勝：優勝杯・賞状、2・3位：賞杯・賞状、4～6位：賞状
 - 2) トラック (男子個人) 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4～8位：賞状
(女子個人) 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4～6位：賞状
 - 3) トラック部門総合成績 (男子) 1～8位：賞状 (女子) 1～6位：賞状
 - 4) ロード (男子個人) 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4～10位：賞状
(女子個人) 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4～6位：賞状
 - 5) ロード部門総合成績 (男子) 1～8位：賞状 (女子) 1～6位：賞状
3. トラック種目の表彰式は、第3位以上が出席して、時程表に基づき、競技場内にて行う。
4. ロード種目・総合成績の表彰式は、閉会式の中で行う。時間・場所・式進行上の注意等については別途発表のコミュニケにて詳細を確認すること。
5. ロード種目の表彰式において、本大会ロードレースの覇者(男子・女子)を擁する各チームに高木秀彰賞を授与する。

事故措置

1. 競技中発生した事故等について参加者は自ら責任を負う。
2. 主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応のこと。
3. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入のこと。
4. 各選手は、健康保険証を必ず持参すること。
5. 主催者において加入している傷害保険は、死亡1000万円、入院・通院保障なしである。

肖像権

本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。

競技規則

JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

司法管轄

本大会への申込みを以て、本大会に関する一切の紛争(裁判所の調停手続きを含む)は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意したと見做す。

ドーピング検査

1. 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となる可能性がある。本大会参加者は大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
2. また、大会出場時に18歳未満の競技者は、上記のドーピング検査の実施についての親権者同意書の日本アンチ・ドーピング機構(JADA)への提出が必要である。18歳未満の競技者並びにその親権者は、JADAの指定する様式をダウンロードして、必要事項を記入・署名のうえ、大会出場時に持参しなくてはならない <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>
3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
4. 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。
5. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

事務局

日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア408
Tel 090-2207-2369 Fax 03-6804-2329

- ・本連盟への問い合わせは、原則としてチーム代表者からのみ受付いたします。選手個人からの問い合わせには対応いたしかねますのでご承知おきください。

大会特別規則

第1条 (チーム監督/代表者会議)

1. 2025年8月27日(水)20時00分より、事前にリモートでトラックのチーム監督/代表者会議を行う。参加チームの監督、代表者は必ず参加すること。
2. 2025年9月4日(木)20時00分より、事前にリモートでロードのチーム監督/代表者会議を行う。参加チームの監督、代表者は必ず参加すること。
3. それぞれの会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者のE-mailアドレスに送付する。
4. 正当な理由無く無断で欠席した場合は該当する大学・チームに対して、罰金のペナルティを科す。

第2条 (スプリント)

男子は予選タイム上位8名が1/4決勝に、女子は上位4名が1/2決勝に進出する。男子の1/4決勝は1回戦制で行う。尚、男女とも5～8位決定戦は行わず、予選の200mFTTの結果により5～8位を決定する。(UCI規則3.2.050の世界選手権大会の組合せ表に準ずる)



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>



第3条 (男女1kmTT)

予選は行わず、決勝のみとする。なお、追抜きがあった場合でも両名完走しタイムを計時する。

第4条 (男女4kmIP)

予選の結果により第5～8位を決定する。予選では追抜きがあった場合でも両名完走しタイムを計時する。予選の上位2名により決勝戦を、予選タイム3、4位により3～4位決定戦を行う。

第5条 (タンデムスプリント)

別途定める「日本学生自転車競技連盟タンデム器材運用基準」に適合している器材であると同時に、後輪の駆動側にチェーン引き又は同等の効力をもつ緩み防止装置の装着を義務付ける。装着なき場合はレース・練習を問わず使用を禁ずる。予選の結果タイム上位8チームが1/4決勝へ進出する。1/4決勝は1回戦制で行う。尚、5～8位決定予選及び、5～6位、7～8位決定戦は行わず、予選の結果により5～8位を決定する。(UCI規則3.2.050の世界選手権大会の組合せ表に準ずる)

第6条 (オムニアム)

男子はスクラッチ10km、テンポレース10km、エリミネーション、ポイントレース25kmで行う。
女子はスクラッチ10km、テンポレース10km、エリミネーション、ポイントレース20kmで行う。
男女とも、参加エントリーがトラックの制限 (JCF規則第63条) による最多数の競技者を超える場合は、予選 (ポイントレース) を行う。予選のポイントレースの距離について男子は15km、女子は10kmで行う。

第7条 (マディソン)

男子は参加エントリー数が多く安全なレースの実施が困難と思われる場合に予選10km (40周) を行い、男子の決勝は30km (120周) で、女子は決勝のみ20km (80周) で行う。尚、女子について4チーム未満のエントリーである場合は、試合を実施しない。

第8条 (4kmTP)

予選の結果により第5～8位を決定する。予選では追抜きがあった場合でも両チーム完走しタイムを計時する。予選の上位2チームにより決勝戦を、予選タイム3、4位により3～4位決定戦を行う。また、ラウンド毎の選手変更を可とし、当該競技番組開始1時間前迄に出走者変更の有無に係わらず、出走者リストをセクレタリに提出のこと。

第9条 (男女チームスプリント)

予選の結果により第5～8位を決定する。予選の上位2チームにより決勝戦を、予選タイム3、4位により3～4位決定戦を行う。また、ラウンド毎の選手変更を可とし、当該競技番組開始1時間前迄に出走者変更の有無に係わらず、出走者リストをセクレタリに提出のこと。

第10条 (個人ロードレース)

1. スタート位置 出走選手のうち、昨年度の本大会本種目における上位10名までの選手に最前列でのスタートを認める。
2. 器材補給
 - 1) 男子・女子共に主催者にて代輪等を積載できる共通器材車を用意する。また、主催者が準備する代輪を若干数は用意する。共通器材車にディスクブレーキ用のホイールの積載を依頼する場合は同時に専用工具も準備し、搭載を依頼すること。
 - 2) 各校にて用意した代車・代輪の交換を大会コミュニケにより指定した場所でのみ認める。
 - 3) 事故やパンク等の場合に選手間での自転車、車輪を交換することは、同一校の選手間に限って認める。
3. 食料補給 飲食物の補給を別途大会コミュニケにより指定する場所と周回でのみ認める。
4. 失格の取扱い
 - 1) 原則として、先頭より一定時間遅れた選手及びコミッセルが完走不可能と判断した選手は、失格とし競技より除外する。打ち切り時間は別途定める。
 - 2) 前項の規定以外にも突発事故の発生等により競技中の選手を除外する事がある。その場合はコミッセルの指示に従うこと。
 - 3) 競技を中止あるいは除外された選手は、速やかにゼッケンを外すか、ユニフォームを裏返してゼッケンを見えなくすること。
5. ロードレースについては一般公道を走行可能な装備で参加のこと。ベル・反射テープの装着も必須とする。

第11条 (器材/トラック・ロード共通)

1. 当連盟 HP に掲載の「日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程」を順守すること。(例えば、本大会のロードレースの場合「公道上进行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。トップギア時のペダル1回転あたり前進距離を10.3m以内に制限する。(参考：通常700Cホイール、53×11で10.217m)」など詳細は本規定を確認すること)
2. これら器材に関する条項に違反していることがスタート時に発覚した場合は、スタートは拒否される。
3. また、スタート後及びゴール後に違反していることが発覚した場合は、バイクチェックを実施したのち失格を含むペナルティの対象となることがある。

誓 約 書

日本学生自転車競技連盟 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI (国際自転車競技連合)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI規則1.1.004, JCF規則第5条2.(4))
- 2 大会 (競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む) における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF規則第5条2.(9) 準用)



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>



- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI規則1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI規則1.1.079)
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI規則1.1.080)
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他人を危険な状態におとしめたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCIおよび自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI規則1.2.079)
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI規則1.2.081)
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI規則1.2.082)

以上

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICFウェブサイトを随時チェックすること。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>

